



## 平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ボルテージ

コード番号 3639 URL <http://www.voltage.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横田 晃洋

問合せ先責任者 (役職名) IR部マネージャー

(氏名) 石井 礼人

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	2,647	15.4	△41	—	△35	—	△46	—
26年6月期第1四半期	2,293	3.4	△112	—	△112	—	△97	—

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 △31百万円 (—%) 26年6月期第1四半期 △98百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	△9.18	—
26年6月期第1四半期	△19.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	4,758	—	3,466	—	—	72.2
26年6月期	5,031	—	3,586	—	—	70.8

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 3,435百万円 26年6月期 3,562百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	19.00	19.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年6月期の配当予想は未定としております。

### 3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,400	11.6	110	△58.5	110	△62.4	30	△73.4	5.86
通期	11,500	14.1	600	△2.6	600	△7.1	300	2.8	58.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	5,117,467 株	26年6月期	5,115,967 株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	228 株	26年6月期	228 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	5,116,239 株	26年6月期1Q	5,034,630 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続く中で、企業収益は改善しました。また、個人消費は、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動も徐々に緩和してきているものの、天候不順等の影響もあり、持ち直しの動きに足踏みがみられました。

モバイルビジネスを取り巻く環境として、スマートフォン契約比率(注1)は、平成26年3月末の47.0%から、平成31年3月末には70.9%に達すると予測されています(注2)。

このような環境の下、当社グループは、「恋愛と戦いのドラマ」をひたむきに追究しつづけると共に、当期は、中期目標を達成すべく、恋愛ドラマアプリでのノウハウを米国・サスペンスアプリへ展開し、市場拡大をしていくことで、さらなる収益拡大に努めています。

売上は、日本語市場において、恋愛ドラマアプリのパーソナル型(注3)は、キャリア公式PF(注4)向けが、PF環境の変化に伴い想定通り減少しましたが、OS系PF(注5)向けが増加しました。ソーシャル型(注6)は、ソーシャル専門PF(注7)向けが減少しましたが、OS系PF向けが大幅に増加しました。また、サスペンスアプリは、大幅に増加しました。英語市場において、L10N(注8)タイトル、SFスタジオ(注9)発タイトルはともに、順調に推移しました。全体としては、前年同期比及び計画比で増加しました。

費用は、主にOS系PF向け売上の増加による販売手数料の増加等がありました。広告宣伝費については、テレビCMを出稿しましたが、効率的に使用し、前年同期比で減少しました。

利益は、計画通りの赤字でありましたが、販売手数料等の増加を、売上の増加で吸収し、前年同期比及び計画比で赤字額は大幅に減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は2,647,577千円(前年同期比15.4%増)、営業損失は41,213千円(前年同期は営業損失112,235千円)、経常損失は35,688千円(前年同期は経常損失112,255千円)、四半期純損失は46,947千円(前年同期は四半期純損失97,598千円)となりました。

当第1四半期累計期間の主な取り組みは、以下の通りであります。

#### (日本語市場)

##### ・恋愛ドラマアプリ (パーソナル型)

新規タイトル「恋してしまった星の王子」「偽りの君とスキャンダル」が好調に立ち上がりました。既存タイトル「誓いのキスは突然に」「特別捜査★密着24時」等も好調に推移しました。集客は、平成26年8月に「上司と秘密の2LDK」のテレビCMを出稿し、計画を上回る効果が得られました。

##### ・恋愛ドラマアプリ (ソーシャル型)

新規タイトル「スイートルームで悪戯なキス」が好調に立ち上がりました。既存タイトル「王子様のプロポーズⅡ」「誓いのキスは突然に」等も好調に推移しました。集客は、OS系PF向けのモバイル広告出稿等を行いました。

##### ・サスペンスアプリ

第2弾となる「ゴシップライター ～消えたアイドルを救え!～」を立ち上げました。集客は、平成26年8月に「新・生存率0%! 地下鉄からの脱出」のテレビCMを出稿し、計画を上回る効果が得られました。

(英語市場)

L10Nタイトルにおいては、新規タイトル「First Love Diaries -A Kiss on the Beach-(注10)」  
「Finally, in Love Again(注11)」が順調に立ち上がり、計画を上回りました。既存タイトル  
「Kissed by the Baddest Bidder(注12)」 「My Forged Wedding(注13)」等も好調に推移しました。

SFスタジオにおいては、第2四半期投入予定タイトルの企画を進めてきました。既存タイトル  
は、引き続き、購買メカニズムに基づいたKPI測定とPDCA運用の強化を図りました。

- (注) 1. スマートフォン契約比率：スマートフォンとフィーチャーフォンを合わせた端末総契約数に占めるスマートフォンの割合  
2. 出所：株式会社MM総研「スマートフォン市場規模の推移・予測（2014年4月）」 2014年4月23日発表  
3. パーソナル型：主に個人でドラマを楽しめるコンテンツ  
4. キャリア公式PF：NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルが運営するサイト  
5. OS系PF：App Store、Google Play等のアプリマーケット  
6. ソーシャル型：主に友達等との交流をしながらドラマを楽しめるコンテンツ  
7. ソーシャル専用PF：GREE、Mobage、mixi、Ameba等のSNS PF  
8. L10N：Localizationを意味する省略表記  
9. SFスタジオ：米国サンフランシスコにある当社子会社  
10. 邦題：「湘南初カレDiary」 11. 邦題：「最後の恋、僕にください」  
12. 邦題：「スイートルームで悪戯なキス」 13. 邦題：「誓いのキスは突然に」

## (2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、4,758,739千円（前連結会計年度末比273,181千円減）となりました。

流動資産は、3,726,504千円（前連結会計年度末比396,816千円減）となりました。その主な要因は、現金及び預金が393,517千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、1,032,234千円（前連結会計年度末比123,634千円増）となりました。その主な要因は、無形固定資産が52,973千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、1,291,969千円（前連結会計年度末比153,825千円減）となりました。

流動負債は、1,291,969千円（前連結会計年度末比153,825千円減）となりました。その主な要因は、未払法人税等が271,540千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、3,466,769千円（前連結会計年度末比119,356千円減）となりました。その主な要因は、利益剰余金が143,622千円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期は、第2四半期以降も、恋愛ドラマアプリでのノウハウを米国・サスペンスアプリへ展開し、さらなる収益拡大に努めてまいります。

具体的には、以下の取り組みを行います。

<平成27年6月期 取り組み> … <平成27年6月期第2四半期 取り組み>

### 1. 既存商品

- ・恋愛ドラマアプリ（日本語版）

[商品] OS系ファースト完了 … スマートフォンの特性をより活用したアプリ 投入

[販売] CM10か月回収 … 第3四半期の大規模テレビCM出稿 検討

### 2. 市場拡大

- ・Romance Apps（英語版）

[商品] F2Pアプリ投入 … 下期投入に向け制作進行

[販売] 広告拡大 … 回収モデルに基づく広告出稿

- ・サスペンスアプリ（日本語版）

[商品] 2アプリ目投入 … 2アプリ目「ゴシップライター

～消えたアイドルを救え！～」本格展開

[販売] CM開始 … 第1四半期出稿テレビCMで獲得したユーザーのKPI向上

以上により、平成27年6月期の連結業績予想は、平成26年8月14日付の「平成26年6月期 決算短信[日本基準]（連結）」で公表した内容から変更なく、売上高11,500百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益600百万円（同2.6%減）、経常利益600百万円（同7.1%減）、当期純利益300百万円（同2.8%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

#### 4. 四半期連結財務諸表

##### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,201,178	1,807,660
売掛金	1,836,738	1,805,590
前払費用	41,394	45,417
繰延税金資産	39,610	60,237
その他	8,504	10,425
貸倒引当金	△4,105	△2,826
流動資産合計	4,123,321	3,726,504
固定資産		
有形固定資産	241,465	267,182
無形固定資産	364,650	417,624
投資その他の資産	302,483	347,427
固定資産合計	908,599	1,032,234
資産合計	5,031,921	4,758,739
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	155,799	144,050
未払金	20,935	15,972
未払費用	794,761	901,816
未払法人税等	307,559	36,019
賞与引当金	-	92,281
その他	166,739	101,829
流動負債合計	1,445,794	1,291,969
負債合計	1,445,794	1,291,969
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	908,660	908,935
資本剰余金	874,260	874,535
利益剰余金	1,762,594	1,618,971
自己株式	△196	△196
株主資本合計	3,545,319	3,402,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△794	970
為替換算調整勘定	18,224	32,382
その他の包括利益累計額合計	17,429	33,353
新株予約権	23,377	31,170
純資産合計	3,586,126	3,466,769
負債純資産合計	5,031,921	4,758,739

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,293,901	2,647,577
売上原価	819,521	899,993
売上総利益	1,474,380	1,747,583
販売費及び一般管理費	1,586,615	1,788,797
営業損失(△)	△112,235	△41,213
営業外収益		
受取利息	226	274
受取配当金	-	7
為替差益	-	4,960
雑収入	334	333
営業外収益合計	561	5,575
営業外費用		
為替差損	581	-
その他	-	50
営業外費用合計	581	50
経常損失(△)	△112,255	△35,688
特別損失		
固定資産除却損	4	-
特別損失合計	4	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△112,259	△35,688
法人税、住民税及び事業税	25,793	32,581
法人税等調整額	△40,454	△21,322
法人税等合計	△14,660	11,258
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,598	△46,947
四半期純損失(△)	△97,598	△46,947



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,598	△46,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	1,764
為替換算調整勘定	△1,370	14,158
その他の包括利益合計	△1,370	15,923
四半期包括利益	△98,969	△31,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,969	△31,023

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。